

私の故郷 岡山県津山市 (東京)福原 毅

私の故郷は岡山県津山市です。

津山市のシンボルとなっている津山城は本能寺の変で討死した森蘭丸の弟忠正が1616年に築城した日本三大平山城です。「日本100名城」「日本さくら名所100選」にも選ばれています。

明治6年の廃城令により建物はなくなりましたが壮大な石垣が残っておりお城の規模の大きさを偲ばせます。春には西日本有数の桜の名所として知られ約1000本の桜が咲き誇る景観は見事です。

津山市は洋学の街としても知られています。幕末に活躍した箕作阮甫^{みつくりげんほ}を始め宇田川榕庵^{うだがわ ようあん}、玄隋^{げんずい}、玄真^{げんしん}等多くの洋学者を輩出し明治以降の日本の近代科学発展に大きな影響を与えました。

私は高校3年まで津山で過ごしました。古い城下町でいろいろな夢を見ながら多感な青春時代を過ごしました。淡い初恋や野球に打ち込んだ部活など思い出多い街です。

今でも高校時代の同期の友だちとは毎年東京で同期会を開催し親しく交流を続けております。津山は人間としての私の原点を育ててくれた場所であり、山青く水清き「山紫水明」の自然豊かなかけがえのない故郷です。

いまでは帰省することは少なくなりましたがどこにいても、いつまでも心に残る「私の故郷」です。

2022.03.21 福原 毅

桜のシーズンには高く積み上げられた石垣が完全に見えなくなるほど一面の桜が咲き乱れます。

